

事業名	企業誘致推進事業
-----	----------

総事業費	178 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

② 実施 (Do)

事業の意図	把握する	
事業の実績 と成果	取組内容	鹿児島県企業立地懇話会への参加 まちなか交流施設の運営
	成果	懇話会での名刺交換、情報交換 20社 まちなか交流施設の利用

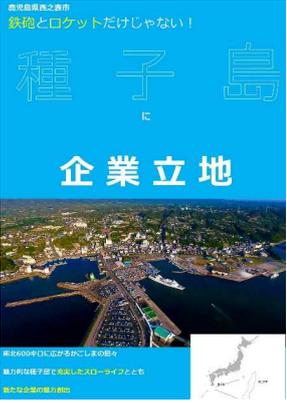
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	離島というハンデもあり、なかなか企業の誘致に繋がらない。 施設の規模が小さく、ワーケーション施設として利用するには使い勝手が悪い。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	種子島という知名度を生かした宇宙産業ビジョンによる宇宙関連産業やIT関連企業について受入れを進めたいが、実績として企業誘致には繋がっていない。 企業立地懇話会への参加、出郷者会での繋がりを大事に、可能性の検討、企業との対話に繋げたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	企業立地懇話会等へ参加し、本市への企業誘致や情報交換等を実施しつつ、受入体制の充実と広報等の強化を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	パンフレット

事業名	雇用機会拡充事業
-----	----------

総事業費	38,846 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

② 実施 (Do)

事業の意図	雇用機会の拡充を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対してその事業資金の一部を補助することにより、雇用機会の拡充を図った。
	成果	事業拡大4件の事業実施があり、雇用創出数計9名であった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	実施年度以降の継続的雇用維持、雇用創出のための事業展開把握等を適切に行っていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対してその事業資金の一部を補助することにより、雇用機会の拡充を図った。 事業拡大4件の事業実施があり、雇用創出数計9名であった。 物価高騰、馬毛島工事の影響もあり、資材確保等スケジュールリングが上手くいかない事例もあることから、今後も進捗管理には念を入れ対応していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	本年度は3件を採択見込みである。雇用の発生のみならず、産業振興にとっても非常に効果的な事業となっている。補助事業に慣れていない事業所も多いことから、円滑な事業の実施のため、申請や実績報告等についてきめ細かな監督・指導、助言等を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	実施事業所：株式会社Lamp 事業内容： ➡商店街の中心部に位置する既存空き家（旧池田旅館）を改修し、宿泊施設、交流スペースとして活用することで、賑わいを生み出し、中止市街地の活性化を図るため事業拡大を行った。 雇用創出数：2名（令和6年4月予定）

事業名	雇用充足促進事業
-----	----------

総事業費	6,000 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

② 実施 (Do)

事業の意図	本市に移住を考えている方と求人を探している市内事業者をマッチングし、移住促進及び事業者への人材供給を図る。	
事業の実績と成果	取組内容	種子島のしごと・暮らしとの親和性が高いと考えられる人材を対象にした「種子島しごと・暮らし体験ツアー」やオンラインセミナーを実施した。市内事業所の紹介や、地域支援課と連携し、移住定住関連情報を紹介し、島内の生活について知ってもらい、移住や就労につなげる取り組みを行った。 9/7 種子島の仕事と暮らしを知るセミナー（オンライン） 9/19 種子島東京交流会 10/27～29 島暮らし仕事マッチングツアー（リアルツアー） 11/28 種子島東京交流会 3/4 事業者とのフィードバック会（オンライン）
	成果	首都圏から15名の参加者。参加者のうち、1名が市内事業所に雇用予定。今年度はツアーの他に、交流会や寺内事業者へのフィードバック会を開催し、ツアーだけにとどまらず本市とのとの繋がりを継続する取組も行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題（事業担当者記入）	年度内にすぐ移住や就労実績ができるものではないため、長期的な経過フォローや地域支援課との連携が継続的に必要となる。
評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入）	首都圏から15名の参加者。参加者のうち、1名が市内事業所に雇用予定。今年度はツアーの他に、交流会や寺内事業者へのフィードバック会を開催し、ツアーだけにとどまらず本市とのとの繋がりを継続する取組も行った。本事業については、継続した情報発信と移住・就業機会を提供していくことが重要であり、複数年の中で実績を求めていくことも必要である。ただ、現在の担い手不足を考えると、早急に結果を求めることができる取り組みも同時に考え、実施していく必要もある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	実際に事業所を訪問してのマッチングツアーの実施を行う。また、ツアー後の参加者のみならず、市内事業者のフォロー体制についても強化を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	9/7 種子島の仕事と暮らしを知るセミナー（オンライン） 9/19 種子島東京交流会 10/27～29 島暮らし仕事マッチングツアー（リアルツアー） 11/28 種子島東京交流会 3/4 事業者とのフィードバック会（オンライン）
	マッチングツアーの様子

事業名	特定地域づくり事業
-----	-----------

総事業費	4,226 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

② 実施 (Do)

事業の意図	地域産業の担い手を確保する。	
事業の実績と成果	取組内容	地域人口の急減に対応するための特定地域づくり事業の推進に関する法律(R2.6.4施行)を受けて、組合運営の補助を行った。
	成果	3名の職員を雇用し、組合員への派遣を実施し、担い手不足の解消に繋がった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題(事業担当者記入)	派遣労働者人材確保や付帯する住宅確保等。
評価結果の根拠及び今後の課題(担当課長記入)	地域人口の急減に対応するための特定地域づくり事業の推進に関する法律(R2.6.4施行)を受けて、組合運営補助を行っている。 現在は5名の目標に対し、3名の雇用であるが、繁忙期の担い手確保に対応していくうえで、貴重な事業となっている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	基本的には組合側で事業展開を図るが、職員の雇用が急務であり、市としても協力しながら円滑な運営ができるよう補助する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	種子島にしのおもて地域づくり協同組合の概要

事業名	西之表市商工業人材確保対策事業
-----	-----------------

総事業費	2,600 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

② 実施 (Do)

事業の意図	雇用の確保、移住・定住の促進	
事業の実績と成果	取組内容	市内事業所において、働き手、担い手が不足していることから、U I ターン者や新卒就職に対し奨励金を支給した。
	成果	本制度を実施することで、労働力確保と就労のきっかけづくりにつなげた。特に、U I ターンを検討している人を中心に関係課と連携を取りながら制度の周知を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・馬毛島基地建設に伴い、住宅不足や家賃高騰のため、U I ターン者が入りづらい環境となっている。
評価結果の根拠及び今後の課題 (担当課長記入)	本制度を実施することで、労働力確保と就労のきっかけづくりにつなげた。特に、U I ターンを検討している人を中心に関係課と連携を取りながら制度の周知を行った。10名以上の実績は伴っているが、このことで例年の移住者数に比べてプラスαになっているかの検証も必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	本市の労働者不足は深刻化しており、他事業と連動させ、奨励金制度を積極的にPRし、人材確保に繋げる。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	人材確保対策事業の広報用チラシ (表)
	人材確保対策事業の広報用チラシ (裏)